



2026 年 7 月 15 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A B E J A
代 表 者 名 代表取締役CEO 岡田 陽介
(コード番号：5574 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取締役CFO 英 一 樹
(TEL. 03-6387-9222)

繰延税金資産の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は 2026 年 8 月期第 3 四半期決算において繰延税金資産を追加計上するとともに、本日開催の取締役会において、2026 年 4 月 14 日に公表しました 2026 年 8 月期（2025 年 9 月 1 日～2026 年 8 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正することを決議しましたので、お知らせいたします。

1. 繰延税金資産の計上について

2026 年 8 月期及び今後の業績動向等を勘案し、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、2026 年 8 月期第 3 四半期会計期間において、繰延税金資産を 311 百万円追加計上することといたしました。これにより、2026 年 8 月期第 3 四半期累計期間の法人税等（△は利益）は△131 百万円となりました。

2. 2026 年 8 月期の業績予想修正について

(1) 当期の業績予想数値の修正（2025 年 9 月 1 日～2026 年 8 月 31 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,500	600	614	540	54.43
今回修正予想 (B)	4,550	710	725	852	85.88
増 減 額 (B - A)	50	110	111	312	—
増 減 率 (%)	1.1	18.3	18.1	57.8	—
(参考) 前期実績 (2025 年 8 月期)	3,585	445	451	448	47.17

(2) 修正の理由

① 売上高

当第 3 四半期累計期間の売上高は 3,369 百万円となり、前年同期比で 25.1%の増加となりました。LLM 関連需要の取り込みと ABEJA Platform を通じた AI 利活用の進展を背景に、事業の拡大が継続しております。

また、当第 3 四半期会計期間は足元の売上計上と並行して、7 月に公表した公的プロジェクト

参画に向けた案件形成・準備も進展し、中長期の成長機会が拡大しています。このため、当第4四半期会計期間の見通しにつきましても、良好な需要環境が継続すると見込んでおります。

この結果、売上高は 50 百万円増加の 4,550 百万円に修正いたしました。なお、通期の売上高成長率は前回発表予想の+25.5%から+26.9%となります。

② 売上総利益、営業利益

売上総利益につきましては、LLM 関連需要を背景としたエンタープライズ案件の構成比が上昇したこと等により、売上総利益率は想定を上回って推移しております。

販売費及び一般管理費につきましては、事業拡大に向けた必要な投資を継続しつつも、費用全般について規律ある運用を行っており、売上高の伸長に対して抑制的に推移しております。なお、当第4四半期会計期間においてはフィジカル AI 関連の開発投資としてロボットの購入等を見込んでおりますが、売上総利益率の改善及び販売費及び一般管理費の効率的な運用により、当該投資を吸収できるものと見込んでおります。

このため、営業利益は 110 百万円増加の 710 百万円に修正することといたしました。

③ 経常利益、当期純利益

営業外損益につきましては、前回発表予想から大きな変更はなく、営業利益の増加を反映し、経常利益は 111 百万円増加の 725 百万円を見込んでおります。

特別損益につきましては、従来どおり見込んでおりません。

当期純利益につきましては、経常利益の増加に加え、前述の繰延税金資産の追加計上等により法人税等が前回予想を下回る見込みであることから、前回発表予想を 312 百万円上回る 852 百万円を見込んでおります。

※本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合がございます。

以 上